中学生防災通信ボランティア令和８年度第１回訓練

日時　令和8年5月31日(日)
午後2時00分～
場所　幡豆いきいきセンター
つつじホール

１　挨　拶

２　三ヶ根通信ボランティア紹介
メンバー自己紹介
中学生メンバー自己紹介　座席順に行う

３　中学生防災通信ボランティアの役割について
・災害で電話などが使えないときの無線機による情報伝達
・幡豆地区の避難所解説

４　通信訓練(トランシーバー操作実習)　（　　班）
・トランシーバー操作についての解説
・各班(1～6班)に分かれて通信訓練実施
１班 つつじホール　　２班 １Ｆ東側相談室隣
３班 ボランティアルーム　　４班 正面玄関西のカウンター
５班 ２Ｆロビー東　　６班 ３Ｆエレベータ前
・順番　1　初めは奇数班を本部とし、偶数班が避難所とする。
2　次には奇数班を避難所とし、偶数班が本部とする。
（時間の都合で２は行わない場合があります）

５　その他
・アマチュア無線について

・アマチュア無線の雑誌紹介　月刊「ＣＱ ham radio」
幡豆図書館に西尾市雑誌スポンサー制度によるアマチュア無線クラブによる寄付
・アマチュア無線クラブ「三河ラブスマイルクラブ」
はず文化交流まつり11月7日(土)、8日(日)の中で展示等を行います

・「三ヶ根通信ボランティア」のホームページ
アドレス　http://hazu8zu.bf1.jp/stv/
活動予定、訓練資料、を中心に掲載する
・第２回訓練　11月29日(日)午後予定

・記念全員写真撮影

中学生防災通信ボランティアの役割

第１回訓練資料

三ヶ根通信ボランティア

1　災害が起こった時、電話や携帯電話が使えないときには、幡豆支所やその他の避難所との間でトランシーバーを使って連絡事項を送ったり受けたりする手伝いをします。

・ 災害が起こったら、まず自分と家族の安全を第一に考えて行動して下さい。
・ ボランティア活動ができるようなら、家族の許しをもらって活動に参加して下さい。
・ 避難所では通信ボランティアであることがわかるように､ユニフォームを着て下さい。
・ 責任者を探し、できるだけその人の近くにいて連絡事項を受けて下さい。
・ トランシーバーを使って、連絡事項を伝えたり受けて下さい。
・ 連絡の内容によっては、人の命に関わることもあるので正確に聞いて、正確に伝えて下さい。
・ いつも自分自身の安全を第一に考え、危険なことをしないようにして下さい。

2　幡豆地区の避難所

・幡豆小学校
・見影保育園
・幡豆いきいきセンター
・東幡豆体育館(東幡豆小学校)

＊風水害時の自主避難所
　幡豆いきいきセンター

○ 通 信 訓 練

トランシーバについて

・電力の大きなものを使用するのは無線従事者免許がいる。

・免許のいらないものは、電波の届く範囲がせまい。

・非常通信の場合は、生命が大切なので制限がない。

トランシーバーによる通信

・片通話である。携帯電話と違う。糸電話と同じ。

・ＰＴＴボタンを押しながら話す。ＰＴＴボタンを離して聞く。

ＰＴＴ(Ｐｕｓｈ Ｔｏ Ｔａｌｋ)

・「どうぞ」と「おわり」が必要

通信をするとき

・はっきり落ち着いて話す。

・すぐには聞きなおせないので、わからなかったところがあれば、そこを覚えておく。

・トランシーバは、なるべく縦に持つ(水平にしない)

・トランシーバのＭＩＣ部分に口を近づける(離すとエコーがかかったような声になる)

・一度に多く話さない。

・特に語尾をはっきり言う。また子音は伝わりにくいのではっきり言う。

・誰が誰と話しをしているかがわかること。

・訓練のときは、必ず「**訓練**」の言葉を言う。

訓練内容

＊名前はフルネーム(氏名)で伝達

1　避難所　「本部、本部、こちらは＿＿＿＿＿＿＿＿避難所の
＿＿＿＿＿＿＿＿です。感度いかがですか？　どうぞ」

2　本　部　「＿＿＿＿＿＿＿＿避難所の＿＿＿＿＿＿＿＿さん、こちらは
＿＿＿＿＿＿＿＿です。　（感度の状況を伝える）　どうぞ。」

感度の状況　・感度良好です。
・少し雑音が入りますが、わかります。
・雑音が多くて聞きづらいです。
・ほとんど、了解できません。もう一度お願いします。

3　避難所　「＿＿＿＿＿＿＿＿さん、それでは＿＿＿＿＿＿＿＿避難所から、
本部へ避難状況の報告がありますので、送っていいですか？どうぞ」

4　本　部　「送ってください。どうぞ」

5　避難所　「訓練　こちらは、＿＿＿＿＿＿＿＿避難所の＿＿＿＿＿＿＿＿です。
14時現在、避難者に怪我人はありません。以上です。どうぞ」

6　本　部　「了解しました。復唱します。
「訓練　14時現在　＿＿＿＿＿＿＿＿避難所の避難者に怪我人はありません。
これでいいですか？どうぞ」

7　避難所「間違いありません。こちらは＿＿＿＿＿＿＿＿避難所でした。おわり」

8　本部「＿＿＿＿＿＿＿＿さん了解しました。おわり」

＊　・避難所の名称は、みなさんが住んでいる家の一時避難所(各町内会公民館等)
（避難所名や小学校の時の子ども会の名前でＯＫ）
・聞き取れなかったり、聞き逃したときは、「＿＿＿＿＿＿＿＿ が聞き取れませんでした。
もう一度お願いします。どうぞ。」などを送る。

アマチュア無線について

(１)電波で結ぶ世界

インターネット、携帯電話、衛星通信など、現代は実にたくさんの通信手段があります。特に、ネット上の通信技術の発達は素晴らしいものがあります。このような発達を見られるようになったのはつい最近のことですが、電波を使った通信は古くからありました。そしてアマチュア無線も古くからありました。アマチュア無線家が先に通信技術を開拓した時代もあります。

電話回線が今ほど発達する以前から、世界を電波で結びコミュニケーションを成立させていたのがアマチュア無線なのです。国境線を意識せず世界の人々と語り合えるアマチュア無線は、今の時代にもっと知られてほしいものです。

(２)社会に役立つ活動

2011年の東日本大震災のとき、あらゆるライフラインが寸断され、ほとんどの通信手段がとだえた中、アマチュア無線家たちの連絡網が情報伝達や人命の救助に役立ちました。このような時にはアマチュア無線はたいへん有効な通信網である、と改めて見直されています。他にも多くの災害時にアマチュア無線は活躍しており、社会の役に立つボランティア活動として大きく注目を集めています。

(３)無線従事者免許(第４級アマチュア無線技士)

アマチュア無線をするためには免許が必要で、二つの方法があります。

・国家試験　CBT方式により随時に受験でき､近隣では蒲郡駅前テストセンターがあります。受験料と他に手数料などが必要です。参考書や問題集を買って自分で勉強する必要がありますが、この方が実力がつきます。

＊パソコンを使った試験で、いつでも１人で受験できます。

・講習会　　２日間の講習で法規6時間、無線工学４時間の授業のあと修了試験に合格すると免許が取れます。受講料で、18歳以下は約半額です。

(４)いろいろな楽しみ方

アマチュア無線はKing of hobbyとも言われます。人それぞれに、自分に向いたものを見つけ、様々な角度から楽しめるからです。おおざっぱに分けても、話し言葉での通信、文字での通信、符号での通信、人工衛星通信などがあります。送信機や受信機、アンテナを自分で組み立てるのが得意な人もあります。さまざまな実験をして、新しいことを知るのが好きな人もいます。今使われている短波や超短波は、はじめは、アマチュア無線家が発見したものなのです。若いみなさんも、何か世界にないものを発見しませんか。

(５)私の体験談

三ヶ根通信ボランティア